

テイジンの防虫素材

SCORON®

スコーロン®

“とまっても、くっついて来ても、逃げていく”画期的なテイジンの防虫素材

スコーロン®は TAフロンティアとアース製薬が共同開発した、繊維に虫を寄せつけない特殊な加工を施した素材です。
高い防虫機能・洗濯耐久性に加え、UVカット機能をプラスした画期的な防虫素材で、
様々なアウトドアシーンを快適に過ごしていただけます。

SCORON® の特徴

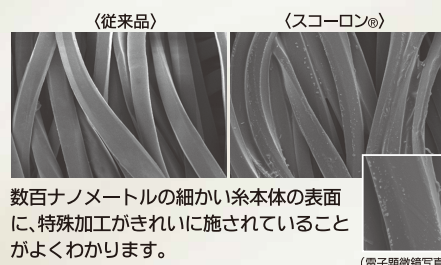
洗濯耐久性

スコーロン®は初期性能で90%以上、洗濯20回後でも80%以上の防虫効果を維持します。
(アース製薬社内測定値)

UVカット性

スコーロン®は従来品対比、紫外線領域でのUVカット効果があります。

SCORON®の生地拡大画像



数百ナノメートルの細かい糸本体の表面に、特殊加工がきれいに施されていることがよくわかります。

(電子顕微鏡写真)

スコーロン®は、洗濯耐久性を飛躍的に向上させた画期的な防虫素材です。
帝人グループのナノレベルの接着技術により、くり返しの洗濯にも効果が落ちにくい防虫素材が誕生しました。

飛んできた



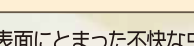
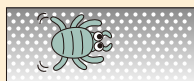
とまった



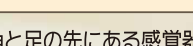
逃げていく



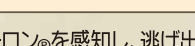
付いてきた



逃げていく



ころんだ



生地表面にとまった不快な虫は、触角と足の先にある感覚器でスコーロン®を感知し、逃げ出します。
「虫などがとまっても逃げていく」防虫素材です。

SCORON®の安全性について

1. 毒性試験

①単回経口投与毒性試験

SCORON®を約300μmに極裁断し、ラットに2,000mg/kgを単回経口投与した時、死亡は認められず、一般状態で軟便等は認められましたが、投与3日後には全て消失しました。剖検所見で異常は見られませんでした。
概略の最小致死量*は雌雄とも2,000mg/kgを超える用量と推定されました。

②単回経皮投与毒性試験

SCORON®を約300μmに極裁断し、ラットに2,000mg/kgを単回経皮投与した時、死亡は認められず、一般状態及び剖検所見に異常は認められませんでした。
概略の最小致死量*は雌雄とも2,000mg/kgを超える用量と推定されました。

*最小致死量{LDL₀(Lowest published lethal dose)}：動物を死亡させるのに要する最小量。

2. ヒトパッチテスト

SCORON®の機能材を10倍量固着させた布を用いて、日本人男女各15名の合計30名の健康人皮膚(左上腕内側部)に24時間閉塞貼付し、除去1時間後及び24時間後に皮膚反応を観察しました。
除去1時間後では、5名の被験者にかすかな紅斑(評価+)が認められましたが、無処理生地にも同様の所見が1名に認められ、その後増悪はなく、除去24時間後では全被験者に皮膚反応は認められず、一過性の反応で臨床問題無いと考えられました。試験期間を通じて被験者30名の皮膚反応は、International Contact Dermatitis Research Group基準に従えば、全員が『陰性』と判定されました。

上記の試験結果により、「SCORON®」の安全性は確保されています。